

しました。小中合同地域奉仕作業



背伸びとジャンプ

五月三十一日（金）の午後、須田小中学校の連携事業として、地域奉仕作業を行いました。十二地区に分かれ、事前に中学生の地域代表の生徒が、各地区長さんにお会いして活動内容を相談するところから始まる活動です。実に2週間くらい前からスタートしているわけです。

当日の仕事の割り振りや進行も中学生がしました。ちよつと前まで6年生だった先輩の言葉遣いや態度などが急に大人っぽくなっていくことに、小学生はびっくりします。この「ギャップ」こそが、小学生にとつて「背伸び」（あななというようにがんばろう。）という意識を高める（ジャンプすること）として働くことを期待しています。

領域性を高める

雑草やゴミがなく整然とした環境は、不審者を寄せ付けません。今回の奉仕活動は、「清掃」の外、この「領域性」を高めることに関係もあります。子供たちの安全安心を高める取組に、今後ともご協力をお願いします。

須田って、どんなところ？

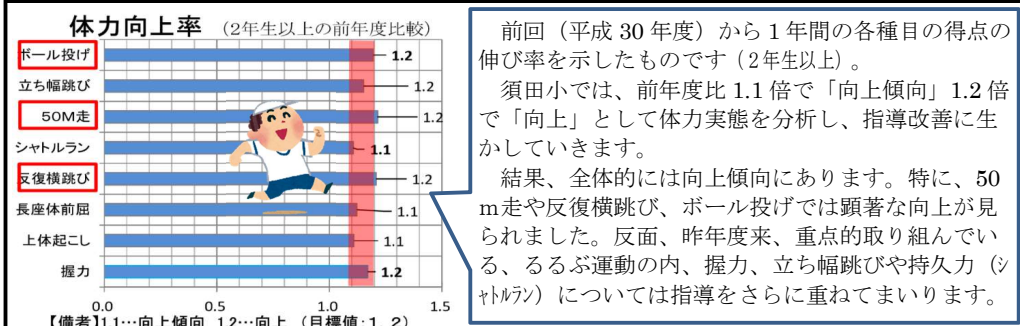
～ 3年生社会科学習 ～



気付いたことをメモして

三年生の社会科は、地域での公共施設がまとまっているのが分かります。学校働く人たち（一、二、三次産業）の工夫や努力について見学を通して理解していきます。「大まかな特徴」とは、須田小学校を中心に東西南北の四方位を基準に絵地図などでまとめます。五月末に行った探検から、コミュニティセンターなどの公共施設がまとまっているのが分かります。周辺だけ見ると、桃や梨の働く人たち（一、二、三次産業）の様子に似ています。子供たちは、どうイメージするか楽しみです。（三年生）

須田っ子の体力状況（スポーツテスト結果から）※実施分のみ



3つのごとに挑戦!



六月三日、二年生は、加茂地区理科教育センター協力の土田先生から、「学校ビオトープ」の授業をしていただきました。

まず、「生き物が住むところを意味するビオトープですが、見方を広げれば、地球も大きなビオトープになります」と、言葉の意味から丁寧に教えていただきました。

続いて、職員玄関横にあるビオトープを見ながら、みんなで知恵を出し合って、次の3つのごとから挑戦してどうかと提案されました。

- ◆ 日かげを作る
- ◆ メダカの好きな水温（26度くらい）、藻を増やさない（ネットをかける等）
- ◆ 水をきれいにする
- ◆ 水をきれいにするバクテリアのすみかをつくる（細かい穴のあいた石、炭瓦、素焼きの鉢など）
- ◆ メダカのためごを守る
- ◆ メダカのためごを育てる場所を作る



学校ビオトープに挑戦! 2年生（生活科）



6月20日（木）、全校でスポーツテストをしました。異学年交流グループで、8つの種目の内の4つの種目（反復横跳び、立ち幅跳び、上体起こし、長座体前屈）を行い、一年間の体力向上の姿を確かめました。今後は、学年毎に実施する種目（ソフトボール投げ、20mシャトルラン、握力、50m走）の4つの記録も加えて総合判定していきます。

須田小学校では、「個人の成長」という観点からみています。現段階（6/24）で実施済みの種目データを基に、体力実態を報告いたします。



体の柔らかさ（柔軟性）は、ケガから身を守る際の体力（防衛体力）の一つですが、子供全体的に「やや堅さ」が見られました。



体全体を使って跳ぶ